社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和05年09月05日

計画の名称	手取川流域の広域的な汚水処理にむけた下水道整備の推進												
計画の期間	平成３１年度　～　令和０３年度　(3年間)									重点配分対象の該当	○		
交付対象	白山市												
計画の目標	人口減少や原単位等の計画諸元の見直しなどを踏まえ、公共下水道事業とし尿処理事業の共同処理を行うことで、より効率的な汚水処理および施設の運営・管理を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	2,764	A	2,764	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H31当初）	（H32末）	（H33末）
1	下水道処理人口普及率を92.2%から92.4%に増加させる。			
	下水道処理人口（人）／行政人口（人）	92%	92%	92%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000524557

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	R02	R03	R04	R05	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	白山市	直接	ー	終末処理場	新設	松任中央処理区（汚泥処理施設共同整備）	汚泥共同処理施設	白山市	■	■	■			1,300	1.5	ー
	A07-002	下水道	一般	白山市	直接	ー	終末処理場	新設	松任中央処理区（処理場増設）	水処理施設増設（3/3系）7,000m3日最大	白山市	■	■	■			1,390	ー	ー
	A07-003	下水道	一般	白山市	直接	ー	管渠（汚水）	新設	松任中央処理区（統合管渠等整備）	汚水管　φ250～400　L=0.6km	白山市			■			74	ー	ー
											小計						2,764		
											合計						2,764		

案件番号：　0000524557

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
白山市において評価を実施	事業完了後
	公表の方法
	白山市ホームページで公開

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・対行政人口普及率目標値92.4%に対し、93.1%と上回る結果となった。 ・し尿浄化槽汚泥受入施設が完成したことにより、し尿処理施設の更新が不要となり、3市1町で更新費用と維持管理費用が軽減できた。 ・水処理施設が増設されたことで、し尿受入施設による水量の増加や、新規の土地区画整理事業と工業団地の整備による流入下水量の増加に備えられたとともに統合管渠整備が完了したことにより処理施設の統廃合を進められ、維持管理の軽減が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・し尿浄化槽汚泥受入施設の整備に関して、各種会議等での事例報告を行うことで、県内市町だけでなく全国に広く情報提供することで広域化・共同化の推進に寄与した。

○特記事項（今後の方針等）

・処理施設（４施設）の統廃合を実施し、維持管理費の軽減を図ることで、企業会計の効率化に取り組みたい。
・令和３年度末時点で白山市内の汚水処理施設は概成（※汚水処理人口普及率99.3%達成）済み。
　※（公共+特環が93.1%、農業集落排水が5.9%、地域下水道が0.3%）

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最　終 目標値	92%	土地区画整理事業や民間開発に伴い、集中的に効率の良い整備が実施されたため、目標値を上回った。
	最　終 実績値	93%	

案件番号：0000524557

市街地整備

計画の名称	手取川流域の広域的な汚水処理にむけた下水道整備の推進		
計画の期間	平成31年度　～　令和3年度　（3年間）	交付対象	白山市